

## 報道発表

# スポーツ庁



令和5年12月14日

### 令和5年度体力つくり優秀組織表彰の被表彰者を決定しました

スポーツ庁では、このたび、令和5年度体力つくり優秀組織表彰の被表彰者を次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 被表彰組織

##### 文部科学大臣賞（5組織）

① 大館市（秋田県）	② 西脇市（兵庫県）
③ 高野町（和歌山県）	④ 高森町（熊本県）
⑤ 外国運輸金融健康保険組合（東京都）	

##### 体力つくり国民会議議長賞（3組織）

① 松山市（愛媛県）	② 日産自動車健康保険組合（神奈川県）
③ 株式会社明電舎（東京都）	

#### 2. 表彰式

令和6年2月9日（金）に愛媛県県民文化会館（愛媛県松山市）で開催する「生涯スポーツ・体力つくり全国会議2024」において表彰します。

＜担当＞ 健康スポーツ課  
課長補佐 電話：03-5253-4111（代表）  
健康・体力つくり係長 菅原 武芳（内線3489）  
健康・体力つくり係 藤谷 元気（内線2998）  
岩原 今日子（内線2998）

## 令和5年度体力つくり優秀組織表彰の概要

この表彰は、地域や職場における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動（体力つくり運動）を推進し、顕著な成果を上げている組織を文部科学大臣、体力つくり国民会議議長が表彰することにより、体力つくり運動の普及及び充実を図ることを目的に昭和43年から実施している。

各都道府県教育委員会等から推薦された8組織について、別添概要のとおり、本年度の被表彰組織として決定した。

### 1. 推薦基準

- ア 体力つくり運動を推進するための、住民（従業員）参加による組織運営が円滑に営まれていること。
- イ 体力つくりに関する実践・啓発・広報活動が積極的に行われていること。
- ウ 体力つくりを実践するクラブ等の育成が積極的に行われていること。
- エ 体力つくり関係施設の提供等が積極的に行われていること。
- オ 過去において体力つくり運動に関する功績により国の表彰を受けていないこと。
- カ 体力つくり国民会議議長賞を受賞し、受賞後原則として3年以上を経過していること。（文部科学大臣賞のみの推薦基準）

### 2. 表彰式

(1) 日時：令和6年2月9日（金）

生涯スポーツ・体力つくり全国会議2024

「オープニング・表彰式」10時00分～10時35分

(2) 場所：愛媛県県民文化会館（愛媛県松山市道後町2丁目5-1）

※文部科学大臣、体力つくり国民会議議長から、表彰状及び記念品（盾）を贈る。

### 【参考】体力つくり運動について

昭和39年12月「国民の健康・体力増強対策について」の閣議決定に基づき、健康の増進、体力の増強について国民の自覚を高めるため、推進されている運動。翌40年3月、趣旨の普及・徹底と実践的效果を高めるため、「体力つくり国民会議」が結成された。現在、8府省、211団体から構成され、事務局を文部科学省（スポーツ庁）に置く。

こうやちょう  
**【高野町】(和歌山県)**

<平成 30 年度体力つくり国民会議議長賞 受賞>

高野町は、町の特性を生かし、町民の生活に根ざした取組を行うことで、町民参加による健康増進、体力つくりを推進している。平成 30 年度の受賞以降に「健康長寿のまち」宣言を行い、いつまでも住み慣れたまちで健康に暮らすことを目的に、町民のニーズに対応したスポーツ教室や町民大運動会の実施、フィットネスジムを健康づくりの拠点として地域に定着化させるなど地域における健康づくりの機会の充実を図っている。また、「高野山旗全国学童軟式野球大会」は全国からも多数の参加があり、スポーツの関心を高めるとともに、地域コミュニティを深める機会にもなっている。

保健・栄養分野においては、高血圧予防や栄養の講習会開催、各地区での健康相談を行い、健康に関する正しい知識や意識の定着、普及の向上を図っている。議長賞受賞後は、子育て支援や高齢者支援を充実させるため、子育て支援センターを保健福祉センターから子供が集まるこども園内へ、役場内にあった地域包括支援センターを役場受付横に移転するなどを通じて、町民一人一人の健康づくりに取り組むとともに、近隣の市町と連携しながら、町民参加による健康・体力つくりを推進している。

たかもりまち  
**【高森町】(熊本県)**

<令和元年度体力つくり国民会議議長賞 受賞>

高森町は、スポーツを通して町民の心と体の健康を増進し、幸福度を向上させるとともに、町民の交流を促進し、地域を活性化することが重要と考え、「健康で豊かな暮らしを送れる町民総スポーツ社会」を目指している。平成 24 年度に設立し、高森町が運営を一部補助している一般社団法人高 SPO（高森町総合型地域スポーツクラブ）と連携し、スポーツ・文化活動・介護予防活動を通して、町民の健康つくり、体力つくり、仲間つくりを促進する活動を実施している。さらに、プロサッカー J2 リーグ「ロアッソ熊本」、プロバスケットボール B2 リーグ「熊本ヴォルターズ」との連携事業を行う等、子供たちが運動に親しむ環境を年々増加させている。

健康寿命の延伸に向けた取組としては、地域公民館 44 か所で行う「いきいき百歳体操教室」や「ボッチャ大会」、「なんさま体操」を実施する等、高齢者がいきいきと楽しく過ごせる集いの場をつくるための活動は多岐に渡る。さらに、全世帯で視聴可能な高森町情報発信光ケーブル TV「高森ポイントチャンネル」内で「なんさま体操」を毎日 3 回放送し、自宅でも体操ができる環境を提供するなど、介護予防事業の更なる参加者の呼び水となる取組を行っている。